現在旧「労農」派の所謂中間の地方無産政党は其れ自体
としては依然階級的合法第一無産政党戦線への道を構ずる
のではなくその自覚にも拘らず実質的に日和見的なものたらざる
を得ない、従つて之れが多数化の大衆をひきつけるのであるとすれば
それは彼等が労農派党合同のために努力すると公言して
いる。
(イ) 旧労党左翼部に対する準備会よりの無産派合同の強力なる働
きかけのみが地方無産政党を主張を軽殺し得るものである。
(ロ) 我々は旧労大部に協議会の結成の働きかけの過程にあら
はれる地方無産党主幹部の陰謀的行動を徹底的に批判
しなければならぬ、
(ハ) この地方無産党主幹部の批判を支持すると同時にその影響
ある大衆にかけかけた見へる労農大衆の合同の欲求でなくてはならぬ

激励して旧労農日労の即時無産派合同の支持に参加せ
しめねばならない!
(四) 中間派に対して
(イ) 中間派の意向は既に日労党を支持するとか新労農党準
備会を支持するとか定まつてゐない。然し其れは依然中間派大衆が
政党問題について無関心であることを示すものではなく却つて新労
農党準備会と日労党の無産派合同を切望し其の成立の際
に新政党を支持しやうといふ希望的ではあるが合同のために奮
起すべき大衆である
(ロ) 我々は大衆が積極的に新労農党準備会支持を強要すること
ではなく合同に対する提唱を支持せしめ中間派大衆の特殊性
具体的な要求を結びつけて合同協議会に進ませるアジを不
断にせねばならぬ、

財團 協調會
法人 協調會